会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（２月定例会）
開催日時	令和７年２月28日（金）午後２時から午後４時まで
開催場所	田無第二庁舎３階会議室
出席者	委　員：伊尻委員、小野委員、川原議長、河野委員、坂内委員 高橋委員、谷関委員、長谷川委員、松本委員、 事務局：大内社会教育課長、吉野社会教育係長、野田主事
議題	（１）スケジュールの確認について （２）提言の原案の確認について
配付資料	
記録方法	□全文記録　■発言者の発言内容ごとの要点記録　□会議内容の要点記録

会議内容

●議題について

議題（１）スケジュールの確認について

○議　長：このことについて事務局から説明をお願いしたい。

○事務局：スケジュールの変更について、下記の通り説明。

①３月定例会で提言の原案の確認とされている担当者の原稿提出締切日を３月20日から３月14日へ変更。

②「第４章まとめ」について、３月定例会で原案の確認を予定しておりましたが、他の原案も踏まえた上でのまとめとさせていただきたく、「第４章まとめ」の原案の確認は４月定例会へ変更。

○議　長：事務局よりスケジュールの変更について説明があった。異議等はあるか。

一同異議なし

○議　長：事務局から説明のあった通り、スケジュールの変更をする。

議題（２）提言の原案の確認について

○議　長：このことについて事務局から説明をお願いしたい。

○事務局：委員の皆様から提出された原稿を組み入れ、参考資料として配布した。

本定例会では、まず、１月定例会でのご意見が反映された原稿の確認、次に、新たに提出いただいた原稿の確認をお願いしたい。その際、執筆を担当された委員の皆様におかれましては、説明をお願いしたい。

○議　長：「はじめに」と「第１章　新たな時代における社会教育」について、１月定例会でのご意見を踏まえて修正した。

○委　員：公民館でのオンライン導入に関して具体的な内容を記載いただいているが、主に公民館について記載する箇所では、この件については触れなくてもよいか。

○議　長：公民館で記載した方がよいと考えるので、該当箇所を主に公民館について記載する箇所への移動をお願いしたい。
他にご意見等あるか。

一同意見等なし

○議　長：続いて、「第２章社会教育で学ぶ多様な人々（１）学ぶ人②若年層」について執筆された委員より説明をお願いしたい。

○委　員：まず若年層の公民館の利用について触れ、若年層のニーズ把握が大切であることを述べた。次に具体的な提言を大きく分けて２つ述べ、１つ目が公民館のロビーの活用、２つ目が子育て世代への学びの支えについてである。

○議　長：ご意見等あるか。

○委　員：公民館の空きスペースの有効活用について、同意見である。

○委　員：実習について、実習終了後も継続して参加できるような仕組みが作れるとよいと考える。

○委　員：若年層にとって有効的な施設として公民館であると言い切っていいものだろうか。コミュニティセンターなど他にも有効的な施設があると思うので、記述方法について考えたい。

○議　長：「第３章社会教育におけるネットワークづくり（２）場」や「第４章まとめ」に、教育委員会以外で所管している施設についても触れたいと考える。
続いて、「第２章社会教育で学ぶ多様な人々（１）学ぶ人③高齢者」について執筆された委員より説明をお願いしたい。

○委　員：社会教育というと公民館関係のことが話に挙がるが、高齢者関係の執筆をするにあたり聞き取り等をしていると、様々な高齢者の活動場所や居場所があることが分かった。庁内でも様々な事業に取り組まれているようなので、より一層庁内の横のつながりを強化し、一括した情報発信がなされると良いという思いを込めて執筆した。

○議　長：　ご意見等あるか。

○委　員：これからの社会教育において、社会教育を主に所管する部署だけではなく、庁内のさらなる連携が必要であると考えるので、その点について触れていただいており参考になった。
地域学校協働活動等を通して学校を核に高齢者の方々が活躍されているので、その点に関する記述を強めても良いと考える。

○委　員：社会参加について、参加するだけにとどまらず、担い手側として活躍される事例もあるかと思うので、その点についても触れられると良いのではないか。

○議　長：続いて、「第２章社会教育で学ぶ多様な人々（２）支える人③地域の人材」について執筆された委員より説明をお願いしたい。

○委　員：既に地域で活躍されている団体の具体的な事例を示しながら、定例会でご意見いただいた課題や改善点をまとめた。最後に人材の発掘方法について提言した。

○委　員：既にコミュニティ・スクールや地域学校協働活動は全校実施されているので、特定の学校の事例を挙げなくても良いのではないかと考える。

○委　員：公民館で活動している団体については地域の課題解決が主目的ではなく、自分たちの興味や関心、趣味の分野で活動されている団体が多いので、他に列挙されている団体の中には少しなじまないように感じる。そのような公民館のサークル活動の継続に関する何らかの支援も必要であると考えるので、その点についても触れられると良いのではないか。

○委　員：公民館のサークルの中には地域への活動を目的とした団体もあるので、そのまま残していただいても良いように感じる。

○議　長：続いて、「第３章社会教育におけるネットワークづくり（３）社会教育は外に出ていく」について執筆された委員より説明をお願いしたい。

○委　員：あらゆる方々へ学習を広げていくためにはどのようなことがあれば良いかを意識しながら、定例会で紹介いただいた事例を含めて執筆した。複数の主体が連携して事業を実施することで、より多くの方々へ事業展開が出来た事例や、内容を深められた事例があったので、複数の実施主体の強みを活かし、連携・協働しながら学習を提供することや、学習者の元へ出向くことについても提言内で触れた。

○委　員：事例に挙がっている地域生涯学習事業は児童センターで実施したが、児童センターの職員も話を聞ける環境であることや、児童センターの職員とつながれたことも、実施したことの強みであったと感じる。

○議　長：次回定例会では引き続き各担当より執筆された原案の確認に入りたい。

次回会議
日時　令和７年３月28日（金）午後２時
場所　田無第二庁舎　５階会議室